

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年4月3日

平成30年度(2年目)

事業コード	38	事業名	ICTツールの活用促進			戦略コード	4	戦略名	機動的・効率的な商工会		
担当部名	企業振興部	担当課名	経営支援課	担当課長名	佐々木隆太	施策コード	19	施策名	事業者の経営力向上に向けたICT活用促進		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景
首都圏等のメガマーケットから離れている地域性や小規模事業者が会員の多くを占める商工会組織において、ICTは地方のハンデや規模の弱点をカバーするため。
2. 事業のねらい
事業者の経営力向上につながる活用提案や商工会の業務効率化といった取り組みを進め、ICTに強い組織体制を構築する。
3. これまでの評価結果
過年度 H29 - H30 H31 H32
4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
87	事業者統計データの分析に基づく経営支援	基幹システムデータを活用し、「簡易診断レポート」の作成に活用した。	b	b	c	B
88	コミュニケーションツールの導入による業務効率化	ネット会議等について検討したが、コスト・セキュリティ面から導入には至らなかった。	c	c	c	C
89	県連合会役員へのPC導入による情報受発信手段のICT化	役員会等の通知および資料を役員PCに送付した。	b	a	b	B

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード	87					取組コード	88					取組コード	89				
指標名	事業者統計データの分析に基づく経営支援					指標名	コミュニケーションツールの導入による業務効率化					指標名	県連合会役員へのPC導入による情報受発信手段のICT化				
年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33
目標	500	1,000	2,000	3,000	4,000	目標	-	40	60	80	100	目標	40%	50%	60%	70%	75%
実績	515	975				実績	-	0				実績	100%	100%			
達成率	103%	98%				達成率	-	0%				達成率	250%	200%			
達成度	a	b				達成度	-	c				達成度	a	a			

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価
【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 取組評価の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) b
〈評価の理由〉 事業者の経営課題に迅速かつきめ細やかに対応するため事業者統計データの活用や、迅速かつ効率的に役員へ情報を伝えるため必要な事業である。
【有効性の観点】 事業目標の達成状況 取組評価の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) b
〈事業の目標は達成されているかどうか〉 コスト面で折り合わず、コミュニケーションツールの導入が出来なかった。
【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 取組評価の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) c
〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉 有効な取り組みであるが、コストや検討が十分に行えなかった。
2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B
目標に対する実績が不十分だったため。今後は目標設定の見直しが必要である。
3. 課題
安価なコミュニケーションツールを検討する必要がある。
4. 今後の対応方針(改善点)
組織のICT活用を戦略的に進める必要がある。